

# ニユヨーク 西區 百二十六街

宇佐美ケイ

## デー ナセリー スクール

ミスヒルの指導されてゐるデーナセリースクールでありまして、コロンビヤ師範大學幼稚園と姉妹關係にあります。生後一年八ヶ月から四年までの幼兒を預る所で、現在四十人を預つてゐるといふ事でありました。場所柄、屋内だけの施設でありませんが、可なり広い教室に、年齢に應ずる設備がなされ、遊具等も、それ／＼適當に配置されて居ります。幼兒は大體は年齢によつてそれ／＼の部屋にわかれて居りますが、絶対に限られて居るのではありません。各室の一隅に、高低の差はあ

りませんが、手摺のついた階段が置かれてあり其上は約一坪のブラットホームになつて居ります。階段は兩側について居ります、其下は小さい窓のついた戸がたてゝあつて、可愛い／＼お部屋になつて居ります。此設備は各所で見たこととありますが變化の爲めに、また場所の利用し上からも至極面白い事と思ひました。私が觀て居ります時にその階段下の部屋にはいつた子供が一人お晝の御飯になつても中々出て來ないので、先生が切りに苦心して居られました。やつと戸をあけて出て來ました。中でたつた一人で積木をして遊んでゐたのでした。遊具は多くありません。これも各所で感

じた事でしたが、家庭でも、また幼稚園でも、日本では小兒の爲めの遊具が多すぎるやうに思はれます。ヒル氏の積木の他にシーソーのやうなものでそれに人形の家がありました。木琴をたゝいて遊んでゐる幼兒がありました、これはよい玩具だと思ひました。製作的の遊びはして居りません、またその設備もありません。まだ此時代には適當しないものと思ひます。遊びは極めて個人的で此時代當然のことでありますが、その一人／＼を見守つてゐる數人の若い先生は極めて忙がしく見受けました。

二つのベッドルームがあつて、薄暗くしてある中にすや／＼お晝ねの赤ちゃんも居りますし、すそ長のねまきのまゝ起き出してよち／＼歩いてゐる可愛い人も居ります。一人の先生が二三人の小兒に繪本を見せて話をして居られますと、だん／＼幾人か其處に集つてまゐります。木琴をた

たいで遊んでゐる子供の居りましたのも其部屋で可なり長い間つゞけて自分の打つ木琴の音を楽しんで居りました。

食事の用意はその係りの先生がいそがしくテーブルをこしらへて居られる。食器は牛乳のカップ、その他皿もグラス器でありました。キレイな縞の麻のテーブル掛け、紙のナフキンを一枚づゝ備へます。この縞のテーブル掛は近來のアメリカの流行で、赤や緑の明るい色の縞で子供らしく中々よいものであります。お晝食はバン一片、牛乳一ぱいとレタースとそれだけであります。

晝食後、三四歳兒は皆おとなしくベッドにはゐります。一時間乃至二時間の晝ねの後、迎へをうけて皆歸るのであります。

貧兒の保護救済の施設として、此種のナーセリースクールが今日世界的になつて居ります時に、アメリカでは、此種のナーセリースクールに、相

當富裕な家庭の幼児が、精神的に、身體的に最もよき教育を遂げしむる効果の大なる條件を具備するものとして、多額の費用を支拂つて預けるのであります。

ボストンのウエルズリーカレッジの敷地内にある、ペイジメモリアル幼稚園に附屬するナーセリースクールを見ましたが、これはごく小規模のものでありましたが、ニューヨークの真中にあるものと違つて、はれやかな廣々とした周圍、底い、明るい、小さな建物の中に數人の二三歳児が、のびやかに遊んで居つたのであります。中に、脚をなげ出して、赤や、緑の糸の具で切りに繪筆を運かして居りました。餘り同じやうな赤ちゃん二人居りましたのでたづねましたら、双生児といふ事でありましたが、實に可愛い、此日ばかりは何もかも忘れて、此幼い人達の遊びにみいつた事でありました。

## フランスス・バーカースクール

最近新築の實に美々しい建物に移つたばかりだけに種々の點に於て、最新の様式、設備の校舎であります。宏壯な建物にはいつて、まづ第一に注意をひきますのは、建物内部の壁、その他の色彩であります。實に思ひきつた明るい色の取合せであります。赤・黄・緑といふ色合を自由自在に配合してあります。此處にはいます者は、自ら氣も心も輕やかにならずには居られませんまい。第一階の入口のドア、その他の戸が皆赤であつた記憶であります。此階は、一寸美術館の感じがいたしました。廣い廊下に、東洋の佛畫、佛像その他陶磁器の類などが立派な大きい戸棚の中に飾られてあります。陳列室のやうなものが幾つかあつてそれにも古器物が陳列してあります。これ等の美術品の陳列は、所謂學校も教授材料、或は研究材

料といふ意味のものではないので、此學校の裝飾であり、また珍藏品として譲つて居る所のものであらうと思ひます、富める家の、裕な家の飾りと同じ意味のものでありませう、とにかくアメリカは今、と申して一昨年のものでありますから世界的不況の前の事ですが、骨董熱が非常なものであります、金持は勿論の事、最新の様式建築と建物に中世紀の或は更に古い諸道具を配して誇りとして居ります。

其第一階は、應接室、事務室のみでありまして二階からが、保育室、教室で、六階まであり、可なり広い、實にゆつくりしたものであります。中央は廣い廊下で其兩側に三間に四間位の部屋が、四つ宛並んで居り、二階が幼稚園になつて居ります。

幼兒は滿二歳から五歳まで約二三十人、中二三歳兒は、ナーセリースクールの幼兒で、數人だけ一

つの部屋に居りました。橙黄色の壁で、部屋の中に低い階段に手摺のついた可愛い、二階があります。砂箱がありシンソーがあり、その他小さい椅子、テーブル等が皆眞新しい眼のさめるやうな橙黄色で實に美しいものであります、廊下に面する戸は、殆ど全部硝子戸で明るいものであります。二つ三つの子供は各自全く個々の遊びをしておとなしく、たのしげであります。各自の家庭のナーセリーで遊んでゐると少しもちがひがないのであります。四五歳の幼兒は四五人づゝ机に向つて貼り紙をするもの、彖をかくものなど、別に此種の手技の部屋で靜かに遊んで居ります。此部屋には、材料戸棚があり、幼兒の製作品が飾られてあります。續いてやゝ廣き唱歌、遊戲の部屋では、これまた數人が、ピアノに合せて大きい毯をついて遊んで居ります。部屋が幾つかあつて、幼兒各自が己が好む遊びを、其備へられた環境に見

出して自由に遊ぶ、暢びやかに落つき、併も活氣のある點、他のアメリカの多くの幼稚園に見る有目的作業の一日を持つものと比較して、學ぶところの多かつた次第であります。

此學校が、ダルトンプランによつてゐる事は言ふまでもない事であります。私は其圖畫の教室を見ました、生徒の製作が壁にかけられてあります。はまだ仕事のしかけのまゝの畫架も幾つかありました。九歳から十二歳の男女兒數人が、此畫室で、如何にも畫家然と畫架に向つて居りました。時々公園に、或は郊外に、寫生に出かけると先生がいつて居られました。しばらくの間に、靜かに二三人新にはいつて來て自分の畫架に向ひ熱心に繪筆をとります、殆ど無言であります。勿論部屋には幾つかの寫生の材料として彫刻、その他の備へがあります。

三階四階と廊下から各教室の光景だけを見ます。

と、先きに述べた通り廊下に面して硝子戸がありますから、よく中を見る事が出来ます。先生の居らるゝ教室もあり、また生徒ばかりが幾つかの群にわかれて、熱心にペンを動かし、或は讀書し、或は文を案んずる者もあります、教室内のしつらひが、日本の學校風でない事は勿論であります。

地下室は食堂になつて居りましてカペテリア式で午後學校に残る生徒は此處で食事をとります。一々現金で支拂ふもの、或は學校銀行の切手で拂ふものもあります、如何にも明るい、晴れやかなアメリカの少女が學ぶにふさはしい學校であると、思つた事であります。試みに月謝を記しますと、一年間に、幼稚園が三百六十圓、小學部が四百八十圓、高等小學が六百圓でありましてその他部屋代、各學科の材料費など可なりの多額を徴集して居ります。ニューヨークでも最もぜいたくな學校とされて居ります。